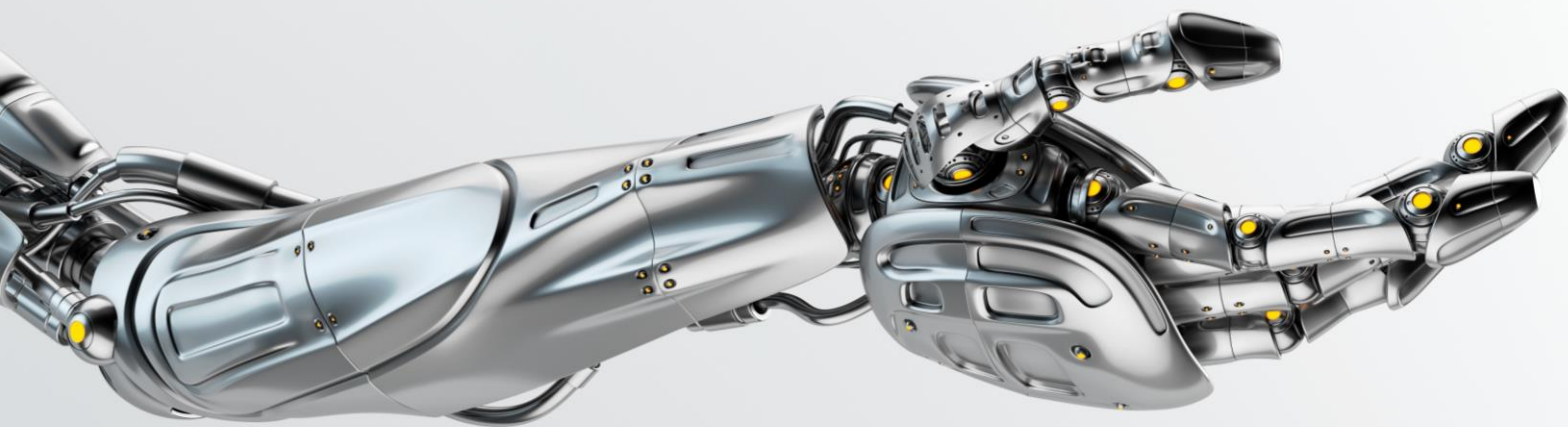


九州大学大学院工学研究院機械工学部門

# 2022年度 公開講座



九州大学  
KYUSHU UNIVERSITY



# 機械のつくり方

2023年1月28日(土) 13:30~15:35

オンライン開催

後援：日本機械学会九州支部，福岡県教育委員会，福岡市教育委員会，糸島市教育委員会

参加無料(申込締切：1月20日)

※専用のページ(下記はQRコード)からお申し込みください(定員なし)



お申込専用ページ

お問合せ

〒819-0395 福岡市西区元岡744

九州大学 大学院工学研究院 機械工学部門事務室

電話/FAX 092-802-3258 / 092-802-3255

E-mail: k-jimu@mech.kyushu-u.ac.jp

# 専門家がやさしく語る

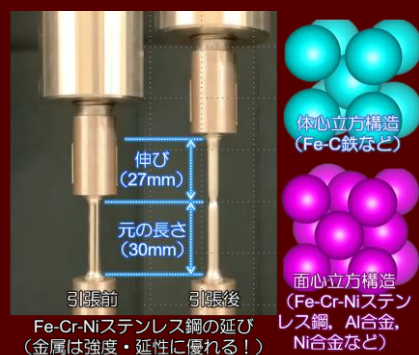
## 材料



高桑 脩 准教授

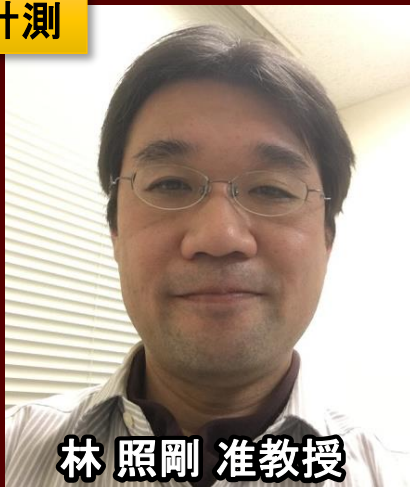
### 「暮らしを支える 構造材料」

私たちの暮らしは自動車、航空機、鉄道、橋、発電所などを代表とする様々な機械・インフラのおかげで成立しています。これらは金属材料を主とする構造材料によって作られています。本講義では安全・安心な社会基盤に不可欠な構造材料について、その性質や、SDGs達成のために解決すべき構造材料側の課題について紹介します。



金属材料の強度・延性

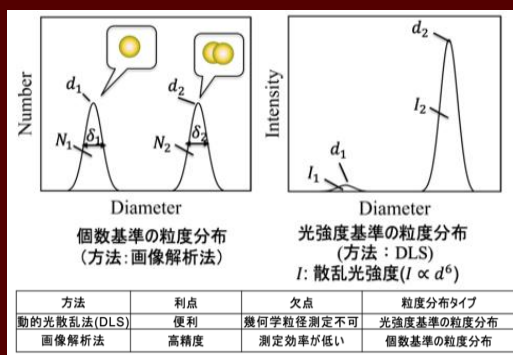
## 計測



林 照剛 准教授

### 「ものづくりと計測の 不確かさ」

ものづくりにおいて「計測の誤差」という言葉をよく耳にしますが、「計測の不確かさ」という言葉を耳にされたことはあるでしょうか？ここでは、超精密計測の分野でも重要な計測の不確かさについて、その評価の仕方の基本を説明し、さらに超精密計測に関する研究として、ナノ粒子の粒径計測について紹介します。



ナノ粒子の粒度分布測定技術

## ロボット



西川 鋭 准教授

### 「ロボット関連技術の スポーツへの活用」

スポーツは科学技術の進歩と共に姿を変えてきた歴史があり、今後も科学技術と共に発展することが期待されます。科学技術が影響を与える項目としては、競技に使用する道具だけでなく、練習補助、審判補助に至るまで多岐に渡ります。ここでは、科学技術の中でも特にロボット関連技術に着目し、そのスポーツへの応用の研究を紹介します。



卓球のトレーニングスーツ

## プログラム

- 13:30-13:35 開会挨拶
- 13:35-14:15 暮らしを支える構造材料
- 14:15-14:55 ものづくりと計測の不確かさ
- 14:55-15:35 ロボット関連技術のスポーツへの活用



お好きなトピックのみの聴講も歓迎です。  
ぜひお気軽にお申し込みください。

機械工学部門ホームページ  
<https://www.mech.kyushu-u.ac.jp/>